

西宮甲山高等学校 第1学期 終業式 式辞

今日は1学期の終業式のお話として、皆さんにイギリスのホーキング博士のことをお話しします。

皆さんは、スティーブン・ホーキングという博士のことを知っていますか。1942年生まれで2018年（一昨年）に76歳で亡くなられた物理学者です。万有引力の法則を見つけたニュートンや相対性理論のアインシュタインと並ぶようなすごい科学者です。（写真を見せて）こんな人です。車椅子に乗っておられますね。障害がありました。博士は、大学院生だった21歳の時に「筋萎縮性側索硬化症」（ALS）という病気を発症します。この病気は筋肉が萎縮していき徐々に動かなくなる病気です。その後、肺炎にもなり、手術の後、話すこともできなくなりました。重度障害者用意思伝達装置というわずかな動作でコンピュータを動かす装置を使って人工音声で話したりスピーチしたりしていました。写真のめがねのところについている装置です。何をした人かというとても難しいのですが、すごく簡単に例を挙げると、ブラックホールに関する画期的な理論をいくつも考えた人です。

そんな博士が残した言葉です。

「人生は、できることに集中することであり、できないことを悔やむことではない。」

博士は、病気のためにできないことがどんどん増えていく中で、できないことを悔やんでも仕方がない、できることに集中すれば、人生が開けていくのだと考えたのです。実際に世界的な、否、歴史的な研究成果をあげたのです。今の私たちもそうかもしれません。新型コロナウイルスのためにできないことが増えてきました。でも、できることがあります。それに集中しましょう。博士のようにすごいことがきっとできます。できることに集中して、生徒の皆さん、先生方、保護者、地域の方と協力して、この難局を乗り越えましょう。

以上で私の話を終わります。